

平成26年度

第3回豊島区地域包括支援センター運営協議会

議事録

(要旨)

平成26年度 第3回豊島区地域包括支援センター運営協議会

平成27年3月25日(水) 午後6時から
於：本庁舎4階 第一委員会室

1 議 事

- | | |
|-------------------------------|-----|
| (1) 平成26年度事業計画表に基づく取組みと成果について | 資料1 |
| (2) 地域ケア会議報告 | 資料2 |
| (3) 平成26年度介護予防支援業務委託事業所について | 資料3 |
| (4) その他 | |

(午後6時01分開会)

○事務局 それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。平成26年度第3回豊島区地域包括支援センター運営協議会でございます。私は、事務局を務めます高齢者福祉課長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日ですが、委員1名より欠席のご連絡を受けております。出席は7名でございます。また、区側ですけれども、福祉総務課長、介護保険課長につきましては、公務のため欠席とさせていただきます。ご了承願います。

では、まず資料の確認をさせていただきますが、事前に送付させていただいている資料は4点ございました。運営協議会という次第と、資料1、2、3とございましたが、皆さん、お持ちでしょうか。

それから、席上に配付させていただいている資料ですが、一つが座席表と、もう一つ資料3というものがございます。こちらですが、事前にお送りしている資料3の差しかえになります。お送りしているものそのものは変わりませんで、2ページ目以降、追加したものでございます。また後ほどご説明をさせていただきます。

資料につきましては、以上ですけれども、よろしいでしょうか。

早速、議事に入らせていただきたいと思います。

会長、よろしくお願いいたします。

○会長 皆様、本日は、お忙しいところ地域包括支援センター運営協議会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

来年度からの介護保険法改正に向けて、今、皆様のお仕事も大変忙しい時期かと思えます。この地域包括ケアにつきましても、保険法改正の中でも重点項目となっております。次年度以降もより一層発展強化されたものが期待されております。

そういった中で、この運営協議会でも制度の趣旨に沿った内容となるように、かつ、豊島区の特徴を生かした地域包括ケアを展開していけるよう皆様のご意見をいただきながら進めたいと思っておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

それでは、議事に従い進めさせていただきます。資料が多いので、区切りながら進りたいと思っております。

初めに、議事(1)平成26年度事業計画表に基づく取組みと成果について、事務局より説明をお願いいたします。

<資料説明>

○会長 どうも説明ありがとうございました。

それでは、議事(1)につきまして、ご感想、ご質問などはいかがでしょう。

○委員 本当に、毎回、ご苦労さまでございます。何点か、少し詳しくお聞きしたほうがいいかなと思ったところだけお聞きさせていただきます。

一挙に質問でよろしいですか。そのほうが早いので。

○会長 量にもよります。

○委員 わかりました。それでは菊かおる園の、介護者への支援というところで、多くの参加者からよい感想をいただいたというふうに総括がありますが、具体的にはどういう感想だったのか、少しお聞かせください。

○菊かおる園地域包括支援センター 認知症介護者懇談会で大変いい感想をいただいたわけですが、内容としては地域の開業医の先生にまず講演をしていただいて、その後で開業医の先生が懇談会にも入っていただいて、いろいろ質問にも答えていただきました。

あと、実際、介護されている方々は皆さん、意見交換して普段の悩みとか、どうやったらもっといい介護ができるかとか、そういった意見交換をして工夫している点とかを参考にすることもできました。そういった点で、これからの介護に向けていい話し合いができましたという感想が多かったです。

○委員 東部ですけれども、介護予防の取り組みの中で、介護予防サロンの自主運営をしたんだけど負担がある、というサポーターの話があったということなんですが、ほかのところは割と自主でやって流れていっている中で、これはどういう負担感なのか、何か原因がわかるようであれば教えていただきたいと思います。

○東部地域包括支援センター 自主運営の企画自体が、体操からレクリエーションまで全てサポーターさんがやるという予定になっていました。1回目はサポーターさんたちで体操がどうにかできたのですけれども、2回目の自主運営のときになりましたら、やはり専門家ではないので、もし事故があったら責任が重いからということで、できれば包括職員のほうで体操のほうは指導してもらえないかというところで、そこところがご負担だったようです。

○委員 よくわかりました。

○会長 では、委員の質問はまだ幾つかあるようですが、ほかの皆様方からのご質問などはいかがでしょう。

では、考えていただいている間、委員に引き続きよろしく願いいたします。

○委員 せっかくご発表いただいたので、できれば詳しく聞かせていただければと思ってご質問しております。

中央の、出張相談の中で福祉用具事業所の協力を得て、いわゆる福祉用具の体験会なども実施されたということで、おもしろいなと思ったのですけれども、これはどういう経緯で実施できるようになったのでしょうか。

○中央地域包括支援センター 地域の中でいろいろなケースを回っていると、車椅子やベッドを体験利用してみたいという相談が入ってきたりしまして、やはり使い勝手の部分ですね。ベッドも2モーター、3モーターとかいろいろあるものですから、どういうベッドがいいのだろうとか、車椅子の使い勝手もどういうものがあれば一番褥瘡ができにくいとか、そういうものも含めていろいろ相談を受けました。

そういう課題がたくさん集積しましたので、一度、地域の中で開いたほうがいいので

はないかということでやったわけでございます。

○委員 大変おもしろい企画だなと思います。

次に、ふくろうの杜さんのところで、いわゆるサロンで女性だけの参加の場合と男性だけの参加の場合というのは、雰囲気なりやっていることなりで何か、どの程度違うのか、ちょっとイメージがわからないので教えていただければと思います。

○ふくろうの杜地域包括支援センター 男性のサロンのほうがまだ手探りでして、参加者が6、7名というところでは、経緯としては、サロンに声をかけたら誰も男性がいなかったということがあります。男性のサロンを始めるときにも、各方面から男性は出てこないよと言われて、やっと集めているような状況です。

女性は、体操と歌ということで固定してやっており、非常に満足度が高く、1年、2年同じことを続けていますが、男性は歌という案を出したら、それだったら来ないという方がおりましたので、今は体操とコーヒーを飲むお茶会という形にして、そのお茶会で時事問題とかが出るので、結構楽しそうではあります。

○委員 よくわかりました。

次に、医師会のところで、いわゆる専門的な総合支援をするのに当たって、職種によっては負担が大きかったり、というようなお話があるのですが、どういう職種のどんな負担が大きいか教えていただければと思います。

○豊島区医師会地域包括支援センター 経験のある看護師の部分で、発表しました西池サロンを行ったり、あと認知症の介護者の会も担当したり、そのほかに総合相談は毎日来所されたりして、ケアマネさんにつないだり、全てにおいてちょっと負担が大きかったかなということで、このように書かせていただきました。

○委員 そういう意味では、機能が拡充していく中で、どんどん負担が大きくなっているという意味だということですね。わかりました。

次に、いけよんの郷のところで、虐待の早期発見ということで、成年後見の利用という意味では後見人選任の申し立てと申立中で合計して5件ということで、かなり多いのかなと思うのですけれども、これはいずれも成年後見なのか、いわゆる保佐とか補助とかが入っているのかという質問です。

また、いわゆる保佐、補助という類型についても活用すべきだという意見がかなり出ていますけれども、現場としてはなかなか補助、保佐は使いづらいのかについて、少しお話いただければと思います。

○いけよんの郷地域包括支援センター 成年後見人の制度の利用については、社会福祉士がかなり力を入れてまして、随分頑張って各方面といろいろ連携をとりながら進めております。

後見人で選任されている方たちは3件で、申立中の方ももうすぐ決まりそうということでしたが、後見人という形での選任だったと記憶しております。

○委員 なかなか、補助、保佐が使われていないという現状が変わっていない中で、もう

少し広まらないかなというふうに思っております。

それから、アトリエ村で、いわゆる多問題家族の障害者のお子さんなどに対しても家族支援を行ったということですが、具体的に本人だけではなく、家族支援といった場合の行っている内容を、少し教えていただければと思います。

- アトリエ村地域包括支援センター 多問題家族のかかわり方は幾つか種類がありまして、一つは高齢者に関して私たちがかかわって、ご家族は息子さん、娘さんに特に精神障害があるご家族の中で、例えば作業所に通っていたり、かかわっている方がいる場合には、最近のケースではその担当の方に来てもらって全員でケア会議を開き、ケアマネジャーとその作業所の方がつながるということをやりました。さらにそのご家族も少しご病気になったということがきっかけで、そういう場を持ったのですが、そういう形で関係機関をつなぐという働きかけをしました。

もう一つは、お子さんに精神疾患等があるのですが、全くの未受診とか、かかわる方がいない場合ですね。この場合には、やはり一朝一夕にはいかないのですが、半年、1年という時間をかけまして、長崎健康相談所の保健師さんや、または生活福祉課とか、いろんな医療機関などとも連携しながら少しかかわりを持ち、何か動いたら一斉にそれが連携して動くという形で、つい最近ですけど、お子さんの入院につながったケースなどもあります。

- 委員 大変な仕事だなと思いつつお聞きいたしました。

最後に西部のところで、マンションの管理会社といいますか、オートロックの問題は大変大きいというのは、どこも同じだと思うのですが、今後、頑張って周知活動をしていこうというお話があったのですが、具体的にはどういう形で周知活動をされていくという予定なのでしょうか。

これはあくまでも提案なのですけれども、例えばマンション管理組合だと1年に1回は総会があるわけなのですけれども、総会などで話をしてもらうような機会があるほうが、管理人に言うよりはよほど効果があると思った次第です。

- 西部地域包括支援センター とてもいいアドバイスありがとうございます。数年前に区からいただいたマンションのリストがあるのですけれども、それではもう対応できなくなっていて、自分たちの中では何とか月間のように集中して個別に回ろうと思っていたのですけれども、今いただいたアドバイスをできるだけ検討いたします。ありがとうございます。

- 委員 以上です。

- 事務局 各センターについていろいろご質問、ご指摘いただいてありがとうございます。

最後のマンションのオートロック等に関するものですが、実はこの後の地域ケア会議の報告の中でも、そこに触れてはいるのですけれども、区のほうでマンション担当課というのがございまして、本当に高齢者総合相談センターだけではなくて、区として非常に頭の痛い課題となっております。

今後、各種のマンションセミナーを行われたというのもございますし、あるいは管理会社さんにも働きかけて、何とか個別の対応じゃなくて区としてこの問題を解決していきたいなと考えているところです。

○委員 よくわかりました。

○会長 ありがとうございます。

そのほかのご質問やご意見など、いかがでしょうか。

私から一つお聞きしたいのですが、医師会地域包括支援センターで、区民ひろば池袋での出張相談の回数が少なかったとあり、相談者を増やす工夫を考えていくことが次年度課題として書かれているのですが、具体的にどのような工夫を考えていらっしゃるのでしょうか。

○豊島区医師会地域包括支援センター まだ検討中のところですが、出張相談は大体約1時間くらいなのですが、そのときに何か講座とか、高齢者総合相談センターの職員が何かお話をしたりとか、そのような形で人を呼ぶような形をとればいいのかと思います。

その後、ご相談につながっていけばいいのかなと考えているのですが、まだ検討中です。

○会長 ありがとうございます。この出張相談とか区民ひろばを使ったイベントについても、昨年に比べますとどの包括もとても積極的に取り組んでくださって、本当に素晴らしい成果だと思います。

ただ、CSWも同じように区民ひろばをベースにかかわった仕事をしているようですので、両方とも同じような目的に向かっているわけなので、分担したりとか、あるいは協力したりして、この部分を充実させていく考え方もあるかと思いました。

あと、もう一つ、医師会包括にお聞きしたいのですが、月2回のペースで17回もサロンを開催されたということで、これもお忙しい中、とても素晴らしい成果だと思います。今後、参加者が固定してきているので、サロンのあり方を検討していくと課題に書かれているのですが、これは具体的にどんな課題があるのかと、どういった取り組みの方向性を考えていらっしゃるのか、今、お話しできる範囲で教えていただければと思います。

○豊島区医師会地域包括支援センター 今後、地域支援事業ということで、総合事業のほうに移っていくという部分もあるので、医師会としては、場所の提供というのができるのかなということで、ヒアリングのときにもお話をさせていただきました。場所を提供して、何かサロンのようなものをしていただきますが、人が固定化してきているので、その方たちがもうそれがなくなるのではないかと困ると考えていて、まだこれも検討中です。

○会長 地域支援事業の中の生活支援コーディネーターなどの配置も始まってまいりますので、今のサービスを低下させずに、拡充させていく方向をご検討いただければ

ばと思います。

そのほか何か、ご質問などはいかがでしょう。

○委員 いけよんの郷ですが、健康長寿医療センターがやっている認知症の初期集中支援チームとのかかわりがあったという事例を話されましたけれども、それについて簡単にどんな事例だったか、どのような対応ができたか、お教えいただけないでしょうか。

事業をやっているのはわかっており、紹介もあり説明もあったのですが、実際の報告がまだ得られていないものですから、もしこの場で教えていただけるならお願いします。

○いけよんの郷地域包括支援センター 認知症の自覚とか、そういったものが全然なくて、かなり垂れ流しの状態でおうちにこもっていらっしゃるような方でした。医療への受診をほとんどしていなくて、身動きがとれない状態になりながらも、受診を拒んでいたのので、受診させるために、いろいろ先生のほうからも説得していただいて、入院という形につなげることができました。

そこから、また新たな病気が発見され、結局、退院をすることはできなかったのですが、おうちの中もかなり荒れ果てた状態になって、近隣の方などからいろいろ苦情とか心配の声があがっておりましたので、とてもよく先生がたと連携できたと思っております。

○委員 ということは、普通はドクターが最初に来るわけではなくて、違うレベルの方たちが来るというふうに見ているのですが、そのケースの場合には最初からドクターがすぐ来たのですか。

○いけよんの郷地域包括支援センター そうですね。チームで来ていただきましたので、看護師さんとかたくさんの方が来てくださって、皆さんで協力をしていただけたという形で、とても心強いと思っております。

○会長 よろしいでしょうか。

そのほか、ご意見、ご質問などはよろしいでしょうか。

私から、一つまたお聞きしたいのですけれども、全体の評価として、達成度を4ランクで書いていただいているのですけれども、Cがついているところが幾つかございますよね。これは悪いことではないと思うのですけれども、その目標について1年間やっていく中で、Cをつけたものは少し見直しが必要な目標なのか、あるいは目標は正しかったけれども、さらに強化が必要なものなのか、そのCをつけた評価の背景について少し加えて説明をしていただければと思います。

また初めから見ると大変ですけれども、Cをつけたと思われる包括の方、その部分について、見直しなのか、あるいは強化のつもりでCをつけているのか、そのあたりを少し補足してください。続いて、東部地域包括はいかがでしょう。

○東部地域包括支援センター お答えいたします。見守り支援活動の周知活動ということで、出前講座と区民ひろば駒込、清和第一の昼食会に参加しているのですけれども、どれ

くらい見守り支援事業の周知ができているかどうか、その辺の成果がなかなかはっきりわからないところがあって、周知活動の見直しをしたほうがいいのではないかとこのところCの評価をさせていただいております。

○会長 ありがとうございます。次は、中央包括はいかがでしょうか。

○中央地域包括支援センター 主に見守り支援担当の部分ですけれども、やはり職員が途中で入れかわりまして、初めてこういう活動に参加するということで、やはり包括そのものの業務もまだわからない中で、実際、地域支援活動をどういうふうに行っていたらいいのか含めて、いろいろわからない部分もたくさんあって、そこは新人の育成ができる人材がいなかったというよりは、みんながなかなかそこまで手が回らなかったというところが実情としてあります。

来年度、その辺については少し大きな課題ですので、新人育成できる体制を来年度構築していければなと思っております。

○会長 ありがとうございます。次が、ふくろうの杜ですね。この点についてはいかがでしょうか。

○ふくろうの杜地域包括支援センター こちらに関しては、いろいろと内容を書いたのですけれども、その達成が目標を下回ったものが多かったので、Cになりました。

ただ、こちらに書いているのですけれども、やりたいことがたくさんあったわけですが、なかなか地域ケア会議開催で手いっぱい、そちらに向かなかったのは、次年度の課題にそっくりそのまま残そうと思っております。

○会長 あともう1点あるようですけれども。

○ふくろうの杜地域包括支援センター こちらに関しては、権利擁護業務としての地区懇談会を開催したかったのですけれども、そこができなかったのも、やはりこちらは来年度から意識的にかかわっていかなければいけない、ということでCをつけました。

○会長 ありがとうございます。豊島区医師会包括の方は、いかがでしょうか。

○豊島区医師会地域包括支援センター うちの地域では、主任ケアマネの人数が少ないといえますか、今現在は二人ですけれども、なかなかそちらの方々とも協働することができなかったということで、今後、関係性をその方たちと深めて強化を図りたいという意味でCをつけました。

○会長 ありがとうございます。次はいけよんの郷ですね。

○いけよんの郷地域包括支援センター 社会資源マップということで、こちらは平成24年度に最初に計画を立てたときに、CSW、そのほかと連携して、社会資源マップをぜひつくろうということでかなり勇んで始めたものだったのですけれども。そのマップに何を載せるかということで大分悩んでしまうような状況が続きました。最初の年度である程度の形までつくってその後にだんだん充実させていくというつもりでおりましたが、そういった形で内容についての吟味を重ねていますと、どんどん逆に情報が古くなってしまって、結果としてマップの形につながらないというような形になりました。

また、ずっと続いて情報収集のみで、それを実際のマップの形にするというところまでたどり着けておりませんので、Cという形になっております。今もまだ編集会議等も行っておりまして、積極的に来年度、早いうちに一旦は形にして、形にしてからでないとバージョンアップができませんので、きちんと形にしたいというふうに頑張っております。

○会長 ありがとうございます。これも、CSWも同じようなことをやっていたようなことを聞いたことがございますので、包括だけで抱えると大変な仕事ですので、協力しながら進められるともっと楽になるかもしれないですね。

次が、アトリエ村ですね。

○アトリエ村地域包括支援センター BCP事業継続計画策定なのですが、こちらの災害時対策ということで、災害時の対策というのは前回の大震災の際にとっても本当に何をやっていいのか我々は何もできないという歯がゆい思いをしましたので、一昨年度、東京都社協の協力も得て、包括支援センターでの災害訓練というのを行い、BCPというものをつくってみたいしました。今年度はさらにそれを発展させてそのときの災害時の福祉救援センターとの連携や、そうしたことについてほかの事業所、特にケアマネ事業者などとの連携などを行い、さらにちょうど要援護者名簿が町会のほうに配られましたので、そういうところの連携ということを考えていたんですが、正直、手が回らなかったということです。

やっぱり、私どもだけの力では何もできないという形なので、来年度以降、全体のそういう災害時の対策などとあわせて包括支援センターも災害後にどのようなことができるかを、じっくりやっていきたいと思っております。

○会長 ありがとうございます。最後に、西部地域包括いかがでしょうか。

○西部地域包括支援センター 地域資源マップについて、いけよんの郷と同じように書いてありますが、西部の場合は方向修正としてつくらない方向にいたしました。

高齢者福祉課とのヒアリングのときに、そのときはそこまで手が及ばずにできなかったぐらいにしか考えていなかったんですけど、アドバイスしていただいて相談してそのようにいたしました。

理由として三つございまして、一つ目が、先生が今おっしゃったように、CSWの方が中心となって各区民ミーティングでマップづくりを現に行っているということが一番大きな理由です。

二つ目に、マップをつくるということ、それをツールとして区民の方とか関係機関、ケアマネを含む方と連携を図ったり、意識向上したりということがあると思うのですが、西部の場合、ほかの形で先ほど申し上げたような地域ケア会議等で自分たちならではの形での連携等が、今だったらできるかなと考えている点が二つ目です。

三つ目が、包括としての情報の整理に関してですが、先ほど報告はしなかったのですが、情報の有効活用について、社会資源マップの作成までは至らなかったが、社会

資源整理を全員で定期的に取り入れて、最新情報の提示がしやすく、今、おおむね定着しつつありますので、そちらの方向に修正をいたしました。

○会長 どうもありがとうございました。

この事業計画評価は、昨年もやっていただいたのですが、やはり昨年が増えてきめ細かく地域情報が把握でき、かつ地域支援が充実されていたというところが本当に一目でわかる評価表になっておりまして、包括の方々の取り組みがとてもよくわかる評価だと思います。

当然、地域差があって当たり前ですので、やはり同じような目標を立てていても、片方の地域ではとてもニーズが高いものの、そうでない地域もあるというのがごく当然のことですので、こういった達成度も同様で、どこがいいとか悪いという話ではございません。

ですが、こういった目標を立てることによって、その地域の特性ですとか、あともう一つ、今もお話に出てきましたけれども、いろいろな機関等が同じようなことに取り組んでいるというようなことが、より見えやすくなってきたということもあると思います。

区の中でも、高齢者福祉課だけではなくて、災害支援の関係とか、あるいは住宅課との連携というところでダブってるところもあるでしょうし、そのほか社協とか、医師会の活動、ケアマネの仕事等で、分担したり協力したりすることによって、包括の業務もスリム化でき、かつネットワークも生まれるというようなことがこの評価表を通してより明確になったことも大きな成果ではないかと思えます。

これをつくり上げるために、各包括の方々が非常に時間を割いてくださったわけですが、それだけのものが言語化され、見える化されたというようなところも、1年間の成果を示した評価表になっていると思います。

お忙しい中、こういった作成をありがとうございました。そしてまた来年度もこの評価を踏まえた上で、目標の見直しとか、あるいは優先度の変更だとかというところに、また生かしていただきたいと思えます。

それでは、そのほかはよろしいでしょうか。

(なし)

○会長 それでは、続きまして、議事の(2)地域ケア会議報告について、事務局より説明をお願いいたします。

<資料説明>

○会長 どうもありがとうございました。

それでは、今の議事(2)につきまして、ご質問などはいかがでしょう。

抽出した課題についても、昨年、いろいろ検討していた段階では一体何を抽出するかという、本当に雲をつかむような話の中で地域ケア会議を検討していましたが、1年たってみて、こういった課題が出されてきたということも、やはりこの会議体が発

展してきた一つの成果ではないかと思えます。

このマンションについては、先ほど委員からも質問がありまして、課長からも説明していただきましたけれども、やはり都市部特有の課題です。特に豊島区は単身高齢者が多いというところでは、重要な共通課題の一つでありますので、ぜひ今年度の重点課題として、一つの包括だけではなく区とも連携をしながら、取り組んでいただければと思います。

もう一つ、私から伺いたいのは、通報により訪問した際、情報の出どころを訪問対象者に質問されたというようなことですが、これはかなり頻繁にあるのでしょうか。

○事務局 頻繁にあるということではないですが、ただ、実際、この訪問に限らないのですけれども、さまざまなケースで私どもも通報をいただいて対応する際に、やはりトラブルになることもままありますので、それは課題かなと考えているところです。

○会長 きっと、そういうことを拒否する方だからこそ、地域の方も心配して相談されると思うのですけれども。

ただ、命にかかわるようなことですか、リスクの高いことについてはご本人に了解を得なくても相談できるというのもあります。このあたりはとてもデリケートな問題かと思えますけれども、引き続き取り組みとか、あるいは対応方法とか、包括だけでは対応できないこともあると思いますので、区との連携の中で取り組んでいただければと思います。

そのほか、ご質問などはよろしいでしょうか。

(なし)

○会長 では、続きまして、議事（3）平成26年度介護予防支援業務委託事業所の承認について、説明をお願いいたします。

<資料説明>

○会長 ありがとうございます。

では、議事（3）について、ご質問はいかがでしょうか。

○委員 ご説明いただきまして、ありがとうございます。

1点、気になるのが、一つの事業所について、指定更新の通知書は平成27年3月31日までのものがついている状況で、本当にこれは更新されるのかという問題です。

これは私の見方が間違っていたら大変恐縮なのですが、いわゆる厚労省か何かが出している介護サービスの情報公表システムを見ると、従業員の研修等のレベルが東京都の平均以下というふうに出ているところをあえてこのように委託をする必要があるかどうか、もしこれが事実なのだとしたら、なぜここに委託するのかという理由を説明していただく必要があるかと思えます。

○事務局 まず、1点目が日付です。今回、ここで追加としてお願いするのは、今年度分ということですので、3月31日まで有効であればいいと考えていまして、また4月には一斉に改めて更新ということで確認をさせていただくところです。

研修の内容についてどうかというご指摘ですけれども、確かに先ほど受託要件をご説明させていただきましたが、私どもとしましては研修を目安として3年に1回と考えているのですが、3年に1回研修を受講していただくことをもって形式的な要件は満たしていると考えてございます。

その先ですが、これらの事業所につきましては、区のほうで特にここが優良だとかと、そういうことではございませんで、各センターで利用者様がそちらに行かれた等のさまざまな理由で利用せざるを得ないということで、当然、不適切な事業所ではいけないわけです。

そこにつきましては、各センターのほうで計画等が上がってきた場合に、適切に作成されているか中身を見ていただくので、研修そのものについての妥当性というのはなかなかそこでは判断できないところですが、実務の上でプラン等がしっかりできていることをセンターに確認していただいているのであれば、それでよしというふうに考えているところがございます。

○委員 少なくとも、こういう情報公開のシステムができているという状況で、客観的な評価は割とわかるようになってきているわけですから、もうちょっと努力をしていただくとか、そのぐらいのことは区のほうでもご指導されてもいいのかなと思います。権限があるかどうかは別としても、もちろんセンターがよいと言えればいいんだという話よりは、区で指定する以上は、そこは多少関与していただきたいなど、あくまで付言として申し上げたいと思います。

○事務局 本当に、要件につきましてはどの範囲でというのもなかなか難しいところもあるので、改めて、今指摘されたことに限らず、今後どういったことが適切なのかというのはしっかりと考えてまいりたいと思います。

○会長 はい。ありがとうございました。

そのほか、ご質問などはいかがでしょう。

(なし)

○会長 それでは、資料3、平成26年度介護予防支援業務委託事業所の承認について、ご承認いただけますでしょうか。

(はい)

○会長 はい。ありがとうございます。

それでは、最後になりますが、(4) その他の説明をお願いいたします。

○事務局 本日、ご用意している議題は以上でして、次回につきましては、また年度が明けて今度は庁舎が移転してからになるかと思いますが、改めてご通知させていただきます。

本日は、以上でございます。

○会長 それでは、せっかくご参加いただいて、発言のない委員の方もいらっしゃいましたので、今年度、最後にもなりますし、一言ずつで結構ですので、全体を通じたご意見、

ご感想などありましたら、簡単にお願ひいたします。

- 委員 会長さんがおっしゃられたように、各センターともすごく細かく目標から結果、そしてその原因となるものをきちんと分析されて、素晴らしいなと思います。

あとは、各センターでそれぞれが今後に向けて課題となるものもきちっと抽出されてやられているようにお見受けいたしましたので、また今後に期待したいと思います。ありがとうございました。

- 委員 ふだんから包括さんのほうにはかかわらせていただいています、ふだんのお仕事の大変さはよく感じております。また、各地域でケアマネの勉強会とかいろんなグループが立ち上がっておりますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

- 委員 事業計画表を見させていただきまして、共通のワードとして連携、それから情報共有、これがすごくキーワードだったなと思います。皆さん、それぞれいろんなところと連携をなさって、また情報共有、本当にこれが大事だと思っております。

ですから、来年度に向けても、今回、連携できなかったところ、情報共有で何が足りなかったかということも、ぜひまたステップアップして取り組んでいただきたいと思ひます。

それから、ちょっと余談ですけども、オートロックマンションのアプローチが難しいというのは、実は私、仕事柄、調査をやっている、団地の調査をやったことがございました。その中で高層マンションの団地が練馬のほうにあるところで、やはり住民の方々がその危機感を持たないと、なかなか地域包括支援センターさん、社協さんだけでは取り組みが難しく、地域包括支援センターの方が本当に入れなくて、双眼鏡を持って見るぐらいの見守りしかないねという話もあったんですね。

その後、その中の住民の方々と交流ができるようになって、実はその住民の方々からサロンをやろうということで、そこの中の団地で初めて一つ小さくサロンを始めて、それも週1回、ただただお茶飲みだけをやっていた。

ずっと3年ぐらいになるのですけれども、やっている中でほかの棟の方たちからも、じゃあ、自分たちもやろうかというふうになって、今は幾つもの棟ごとにお茶会とかサロンとか、そういうのができていて、そのサロンもただお茶を飲むだけとか、いろいろ体操をやったり、何か講座をやったりと、みんな特徴があって、そこをいろいろ点々とする住民の方も出てきたりとかということがあったそうです。

そういうふうなことで、そこに住んでいる方は先ほどのいろんな成果を見ている、住民の方々とつながるといことはとても大事で、それが連携であり、情報共有にもなるし、そこから何か発展しようとする人たちが出てくるはずなので、地道で大変でしょうけれども、そういう取り組みをぜひやっていただけたらと思ひます。

- 委員 いろいろ細かい部分にまで気を使っただいて、本当に豊島区民として感謝しております。ありがとうございました。本当に大変な努力だと思ひます。今後とも頑張っただきたいと思ひます。

それと、こういう多くの重大なことがあるのですけれども、区民一人一人が徹底するところがなかなか難しいと思うんですけども、その辺の方法について今後ともいろいろな意味で課題が多いと思いますが、私たちも努力していきますけれども、その点でどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○会長 はい。ありがとうございました。

よろしいでしょうか。

それでは、用意された議題は以上でございます。

事務局からは、ほかに何かございますか。

(なし)

○会長 それでは、本日は、年度末でお忙しい中、貴重なお時間をありがとうございました。多くの意見をいただきましたので、今後の参考にさせていただきます。これをもちまして、本日は終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

(午後 7 時 4 0 分閉会)